

## 物部川地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

# 物部川地域アクションプランの進捗状況等

H 2 6 . 2 . 1 4  
物部川地域本部

## 1 地域アクションプランの第3四半期の実施状況（総括）

### (1) 総評

全24項目について、必要な情報共有や積極的な事業進捗に向けた協議など、支援チーム員と関係者が連携して取り組んでおり、全項目において概ね計画どおり進捗している。

農業分野では、天敵防除技術の導入やニラにおける栽培履歴の新記帳方法の開始、シシトウ、エメラルドメロンに関する炭酸ガス施用効果の検討など環境保全型農業の取組が順調に進捗している。また、青果出荷日本一のユズに関しては、高齢生産者の意向調査や若手生産者の意見交換会を行うなど、高齢化が進む産地を維持するための仕組みづくりを進めている。

林業分野では、素材の増産に向けて、森林経営計画策定のための地元説明会を開催しており、また、木質バイオマスボイラーの新規導入に向けた取り組みを進めている。

水産業分野では、シイラの加工品について取引先と定期的に情報交換を行い、加工場の周年稼働に向けて加工量の確保と新規販路の開拓に努めている。

商工業分野では、高知新港に寄港した大型客船の乗客等にくじらナイフを販売するなど、伝統産業である土佐打刃物の魅力のPRや販路拡大、後継者育成に取り組んでいる。

観光分野では、恒例となった「岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリ」や「長宗我部フェス」等を開催したほか、土佐塩の道ウォークや御幣切り体験など物部川地域ならではの体験型観光を推進している。併せて、映画「県庁おもてなし課」のロケ地マップ（香南市夜須町手結エリア）の配布や、「第3回龍河洞クリスマスキャンドルナイト」、「第2回土佐塩の道トレイルランニングレース」を開催した。

### (2) 具体的な動き

#### ① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<b>園芸主幹品目の再構築及び強化</b> ■No.1 南国市の園芸主幹品目シシトウの再構築(南国市)  《事業主体》 ・JA南国市 ・JA長岡 ・JA十市	[目標(H27)] シシトウ販売額:10.8億円  [H25到達点] シシトウ販売額:10.4億円 ※販売額はJAへの入金額  [取組状況]

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 エメラルドメロンの販売力向上対策 (香南市)</p> <p>《事業主体》 ・ J A 土佐香美</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃油価格高騰緊急対策事業により 2 戸がヒートポンプを導入し、木質資源利用促進事業により 1 戸が木質ペレットボイラーを導入する予定である。また、試験用として 1 戸で木質チップボイラーを導入した。</li> <li>・ J A 長岡シトウ部会において炭酸ガス施用実証農家を決定し、調査を行っている。</li> <li>・ 各 J A シトウ部会の反省会において、省エネ対策、I P M 技術、品種比較の実証結果を報告した。併せて 26 園芸年度の取組について協議し、新たに 6 カ所に実証ほを設置し、調査を行った。</li> <li>・ 新規栽培者に対する個別巡回及び情報収集を行い、販売数量や決算書などの分析データを収集した。データを基に経営分析を行い、面談のうえ、26 園芸年度の目標を設定し、個別巡回(延 23 回)により、指導を実施した。</li> <li>・ シトウの生育状況について、中央東農業振興センターの H P において定期的に情報発信をした(毎月 3 回更新)。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>省エネ技術導入に向けた取り組み ⇒ 実証試験の調査を行い実用性について検討していく。</p> <p>増収に向けた取り組み ⇒ 炭酸ガス施用について実証試験の調査を行い、効果を検討する。</p> <p>土着天敵の導入 ⇒ 安定した防除効果を目指して実証ほの調査を行うとともに、各部会現地検討会等において情報提供を行い、天敵防除技術の改善を図る。</p> <p>担い手育成 ⇒ 経営改善計画の目標達成に向け、継続して指導していく。</p> <p><b>[目標 (H27) ]</b> エメラルドメロン販売額：4.8 億円</p> <p><b>[H25 到達点]</b> エメラルドメロン販売額：4.8 億円 ※販売額は J A への入金額</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市場等が来高して商談を行った。</li> <li>・ 関東、徳島、大阪、名古屋、兵庫、愛知で試食宣伝を行った。</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.3 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市・香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA土佐香美</li> </ul>	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炭酸ガス発生装置導入農家から炭酸ガス施用実態の聞き取りを行った。</li> <li>・高温期に適した温度・灌水管理について現地検討会を開催した(6/4、7/25)。</li> <li>・黄化えそ病防除対策勉強会を開催した。</li> <li>・天敵導入勉強会を開催し、部会全体で試験的に天敵を導入した。</li> <li>・日本農業賞高知県代表に選定された。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>収量品質の向上</p> <p>⇒炭酸ガス施用について施用効果の検証と改善策の検討を行う。</p> <p>難病虫害防除対策</p> <p>⇒引き続き、天敵勉強会の開催と防除効果の検証を行う。</p> <p><b>[目標 (H27) ]</b></p> <p>ニラ販売額：30.0 億円</p> <p><b>[H25 到達点]</b></p> <p>ニラ販売額：29.0 億円</p> <p>※販売額はJAへの入金額</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌消毒剤によるネダニ防除対策の現地検討会を行うとともに露地品種比較実証ほ及び展示ほを設置し(3ヵ所)、収量・品質、鮮度保持調査を行っている。</li> <li>・露地で軟腐病対策実証ほを設置し、定期的に薬剤散布を行い、防除効果を調査している。</li> <li>・異物混入対策の目慣らし会を実施するとともに、栽培講習会を開催し、栽培履歴の記帳及び提出を指導するとともに、安全・安心シートによる点検を行った。</li> <li>・収量、品質向上に向けて、作型調査を実施している。</li> <li>・新規栽培農家も参加したニラ部会現地検討会において、病虫害対策や栽培技術の指導を行った。</li> <li>・生産者やJAから提供を受けた経営状況や販売に関するデータの分析を行った。</li> <li>・役員会で雇用アンケート調査の分析結果を検討した。外国人研修生の受け入れについて斡旋組合に聞き取りを行うとともに、機械化について導入産地の視察調査を予定している。</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・突風被害調査及び対策協議を行うとともに、部会等が片付けなど復旧に向けた支援を行った。</li> <li>・食博に点天と共同出展し(4/26～5/6)、ニラ等 J A 土佐香美園芸品の試食宣伝及び販売を行った。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>出荷量の増加及び周年安定生産</p> <p>⇒引き続き、病害虫対策及び有望品種の実証、月ごとの栽培指針の作成配布等を行うとともに調整作業労働力の確保対策を検討していく。</p> <p>新規就農者等の育成・確保</p> <p>⇒部会でのバックアップ体制の検討を行い、必要な対策を講じていく。</p> <p>部会員の経営改善の仕組み作り</p> <p>⇒規模別の課題を抽出し、経営改善の指導に取り組む。</p> <p>突風被害への対応</p> <p>⇒早期の復旧に向け取り組む。</p>
<p><b>ユズの総合的な産地強化</b></p> <p>■No. 11 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市</li> <li>・ J A 土佐香美</li> </ul>	<p><b>[目標 (H27) ]</b></p> <p>ユズ販売額：5 億円</p> <p><b>[H25 到達点]</b></p> <p>ユズ販売額：4.5 億円</p> <p>※販売額は J A への入金額</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズ産地協議会や座談会、若手生産者との意見交換会を開催し、出荷量維持のための後継者の規模拡大及び基盤整備の導入、経営モデルの作成を決定した。</li> <li>・ユズ産地構造改革計画の素案を作成した。</li> <li>・こうち農業確立総合支援事業を活用して、小袋包装機とカラーリング施設を整備した。</li> <li>・後継者不在で規模を縮小したいと考えている生産者に聞き取り調査を行い、意向を把握することができた。</li> <li>・こうち農業確立総合支援事業を活用して、せまち直しを行うこととなった。</li> <li>・ユズ生産部委員会で、農業基盤整備促進事業の導入やスピードスプレーヤーによる防除作業の省力化、全量機械選果、「柚月」の小袋包装販売等について紹介した。</li> <li>・市場関係者を対象にアンケート調査を実施した。</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>担い手への園地集積</p> <p>⇒園地の状況や生産者の意向等を反映し、ユズ産地構造改革計画を作成するとともに、各種支援制度の活用も検討していく。</p>
<p><b>地産地消・食育の推進</b></p> <p>■No.4 地産地消・食育の推進（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A南国市出資農業生産法人</li> <li>・ J A南国市、J A長岡、J A十市</li> <li>・ 南国市地産地消推進協議会</li> <li>・ 農家レストランまほろば畑</li> <li>・ 南国市</li> </ul> <p>■No.5 直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A長岡</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：15% 業務筋への供給：15 事業体</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：13% 業務筋への供給：18 事業体</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校給食への配送業務について、南国スタイル・市・市教委が現在の発注や配送ルートについて協議を行うとともに、地域食材の使用を増やすため使用推移の分析を行い、改善策の検討を行っている。</li> <li>・ 南国市内の3 J Aシントウ部会役員会で農家レストランまほろば畑との連携について協力を依頼した(8/20)。</li> <li>・ 農家レストランまほろば畑が来店者2万人を達成した(6/11)。</li> <li>・ 農家レストランまほろば畑3周年イベントを開催した(10/15)。</li> </ul> <p>(4/2～12/17の来店者数 平均 193人/日)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>配送効率の向上</p> <p>⇒配送ルートや受注方法の検討等を行い、配送効率の向上に努める。</p> <p>J Aとの連携強化</p> <p>⇒J Aと情報共有を行い、農家レストランまほろば畑への食材供給方法、地元野菜のPR等について検討を行う。</p> <p>[目標 (H27) ]</p> <p>直販所等の売上額：100,000千円 直販所等の雇用者数：8人 ながおか温泉入場者数：19万人</p> <p>[H25 到達点]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.6 地域農産物を活用した直販所「ひかり市」の施設拡充(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA十市</p>	<p>直販所等の売上額：33,000千円 直販所等の雇用者数：3人 ながおか温泉入場者数：16万人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月16日付けで産振補助金の交付決定を受け、飲食店工事は11月15日に完了し、現在は直販所を建築中である。</li> <li>・11月18日に新たな運営組織となる「株式会社なの工房」を設立し、生産体制や商品開発、組織体制等について実行計画の策定を行っている。</li> <li>・観光アドバイザーの藤澤氏を招いて誘客活動等について検討した。(10/8)</li> <li>・あけぼの市生産者組合の臨時総会を開催し、新施設完成後の運営体制等について協議した。(10/9)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>事業の年度内完了 ⇒進捗管理を行うとともに、必要な支援を行っていく。</p> <p><b>[目標(H27)]</b></p> <p>直販所の営業日数：週6日 直販所への出店者数：100人 直販所売上額：50,000千円 直販所スタッフ雇用(新規)：3名</p> <p><b>[H25到達点]</b></p> <p>直販所の営業日数：週6日 直販所への出店者数：90人 直販所売上額：34,500千円 直販所スタッフ雇用(新規)：5名</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販所会員との意見交換会を開催した(5/20)。</li> <li>・営業時間を17:00までに延長した(6/13～)。</li> <li>・店頭で鮮魚や花苗の販売を開始した(6/15～、6/20～)。</li> <li>・運営会議を開催し、商品の品揃え等、今後の改善策の検討を行った(8/7)。</li> <li>・農林水産物直販所支援事業を活用してアドバイザーを招へいし、改善策等を協議した。(11/11)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>商品の充実</p> <p>⇒出荷会員の増による直販部門の強化を図るとともに、米粉パンの製造技術の向上及び商品の磨き上げを行う。</p>
<p><b>豊富な地域資源を活用した 1.5 次産業化の推進</b></p> <p>■No.7 地域の特産品づくり～農産物加工への取組～（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんこく空の駅推進協議会、西島園芸団地など既存企業、組織、グループ</li> <li>・新しい組織、グループ</li> <li>・J A南国市出資農業生産法人</li> <li>・南国市商工会</li> <li>・南国市観光協会</li> </ul> <p>■No.8 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごめんシャモ研究会</li> <li>・南国市商工会</li> <li>・南国市</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数（新規）：10 組織・団体</p> <p>開発商品売上額：1,000 万円（40 品目）</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数（新規）：8 組織・団体</p> <p>開発商品売上額：1,900 万円（24 品目）</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特産品等研究開発事業（南国市）を活用して、4 団体 4 品の商品開発を開始した。</li> <li>・実践型地域雇用創造推進事業によるセミナーを開始した。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>特産品づくりのプレーヤーの発掘・育成</p> <p>⇒地域特産品等研究開発事業及び実践型地域雇用創造推進事業（厚生労働省）等を活用して発掘・育成に取り組む。</p> <p>[目標 (H27) ]</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数：18 店舗</p> <p>シャモ目標飼育羽数：3,000 羽</p> <p>ごめんケンカシャモを使った加工品数：3 品</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数：18 店舗</p> <p>シャモ目標飼育羽数：1,500 羽</p> <p>ごめんケンカシャモを使った加工品数：1 品</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「土佐の食 1 グランプリ」及び「地域活性化から市」で優勝、第 1 回全国地場もん大賞で銀賞を受賞したシャモスキヤきをごめんシャモ鍋社中 20 店舗で提供しており、シャモスキヤきセットを商品化し、販売を行っている。</li> <li>・直営鶏舎整備計画の検討を行っている。</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 香美市ブランドの確立・特産品づくり (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市観光協会</li> <li>・食品加工グループ</li> </ul>	<p>・商談会等に参加するとともに、契約飼育についての協議を行っている。</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>販路開拓・販売促進</p> <p>⇒フェアやイベント、商談会等の機会を活用して知名度の向上を図るとともに、販路開拓及び販売促進に取り組んでいく。</p> <p>シャモの安定的な生育体制の整備</p> <p>⇒貯卵及び孵卵施設整備のため産業振興推進総合支援事業に採択申請を行い、12月25日付けで採択された。</p> <p><b>[目標 (H27) ]</b></p> <p>開発商品売上額：6,300千円(20品目)</p> <p><b>[H25 到達点]</b></p> <p>開発商品売上額：5,700千円(16品目)</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人香美市観光協会が中心となり、香美市内外で開催されるイベントに参加し、シカ商品やユズ加工品を販売し、特産品のPRを行っている。</li> <li>・食品加工グループが農業創造セミナーに参加し、新たな取り組みについて検討を始めた。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>商品の販売促進及び販路開拓</p> <p>⇒イベント等に参加し、特産品の販売及びPRを行っている。</p>
<p>■No. 15 シイラ等の加工商材活用(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県漁協手結支所</li> </ul>	<p><b>[目標 (H27) ]</b></p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700万円</p> <p>衛生管理の認証：県版HACCPの取得</p> <p><b>[H25 到達点]</b></p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700万円</p> <p>衛生管理の認証：-</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存取引先と定期的に情報交換を行い(2回/週)、販売先を確保している。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>加工場の周年稼働に向けた加工量の確保</p>



重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A十市</li> <li>・ J A土佐香美</li> </ul>	<p>打ち合わせを行った(5/9、5/30)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地見積会を7カ所合同で実施した(5/15)。</li> <li>・南国市における木質バイオマスボイラー導入に係る地域事業評価委員会を設置した(6/27)。</li> <li>・同委員会を開催し、導入箇所(3箇所)を選定した。(7/10)</li> <li>・南国市から木質バイオマスボイラー導入事業計画書(3箇所)が提出された(10/1)。</li> <li>・木質バイオマスボイラーの焼却灰の取扱いについて、関係機関への説明会を実施した(10/24)。</li> <li>・導入箇所(3箇所)の年内入札が完了した(12/27)。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b> 補助事業等の活用 ⇒来年度のペレットボイラー導入に向け、事業計画作成の支援を行う。</p>
<p><b>歴史と伝統ある地場産業の振興</b></p> <p>■No. 19 地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県土佐刃物連合協同組合</li> <li>・香美市商工会</li> <li>・フラフ製造業者</li> <li>・香美市観光協会</li> </ul>	<p><b>[目標 (H27) ]</b> 刃物製造業者数：現状維持</p> <p><b>[H25 到達点]</b> 刃物製造業者数：現状維持(後継者育成モデルプランの活用)</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あかめナイフの販売を開始した(5/23)。</li> <li>・積丹ソーラン味覚まつりで土佐打刃物の展示販売を行った(6/30)。</li> <li>・あびす昭和横丁のイベントで土佐打刃物及びフラフのPRを行った(9/21、9/22)。</li> <li>・高知新港に寄港する大型客船の乗員乗客向け物販ブースにて、くじらナイフの販売を開始した(10/5、11/10)。</li> <li>・小学生を対象にフラフ染め体験を行った(10/29)。</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b> 土佐打刃物後継者育成 ⇒「土佐打刃物製造業の後継者育成に向けたモデルプラン」について関係機関で引き続き協議を行っていく。</p>
<p><b>体験型観光商品の充実及び広域観光の取組の推進</b></p> <p>■No. 20 観光事業から観光産業へ～観光産業の振興～(南国市)</p>	<p><b>[目標 (H27) ]</b> 観光協会の会員数：150 一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市観光協会</li> <li>・市内各観光に関わる企業・団体・グループ</li> </ul> <p>■No. 21 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香南市観光協会</li> <li>・地域の体験メニュー等提供団体</li> </ul>	<p>主要 4 観光施設※の入り込み数：500,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>観光協会の会員数：85</p> <p>一般社団法人数（観光協会の法人化）：1 組織</p> <p>主要 4 観光施設※の入り込み数：517,000 人</p> <p>※県立歴史民俗資料館、西島園芸団地、パシフィックゴルフ（以上、来場者）、道の駅南国風良里（ショップ、直販所のレジ通過人数）</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市観光協会が一般社団法人化した(4/1)。</li> <li>・岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリを開催した(4/7)。</li> <li>・第1回ごめんな祭を開催した(5/12)。</li> <li>・長宗我部フェスを開催した(5/18)。</li> <li>・土佐のまほろば祭り(8/3)、岡豊山の夏祭り(8/18)を開催した。</li> <li>・婚活イベント「なんこくまち恋」を開催した(10/6)。</li> <li>・なんこくへんろウォークを開催した(11/17、12/15)。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>体験型観光の推進</p> <p>⇒コンテンツの創出、磨き上げ、育成、ネットワーク化に取り組んでいく。</p> <p>[目標 (H27) ]</p> <p>年間プロモーション活動：年 6 回以上（年のべ 50 社以上）</p> <p>主催旅行の開催：10 コース・募集 200 人以上</p>
<p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香南市観光協会</li> <li>・地域の体験メニュー等提供団体</li> </ul>	<p>[H25 到達点]</p> <p>年間プロモーション活動：年 6 回以上（年のべ 50 社以上）</p> <p>主催旅行の開催：10 コース・募集 200 人以上</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐史跡めぐり～戦国の香美・香南を訪ねる～ツアーを実施した(5/25・29名参加)。</li> <li>・映画「県庁おもてなし課」ロケ地案内マップを作成し、道の駅やす等で配布している。</li> <li>・第2回土佐塩の道トレイルランニングレース を開催(12/8。191名参加申し込み、当日171名出走)し、世界選</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 「森の駅」を中心とした体験型観光の推進(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市</li> <li>・香美市観光協会</li> <li>・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体</li> </ul>	<p>手権参加選手による講習会及び出走など大会を盛り上げた。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>プロモーション活動の実施</p> <p>⇒エージェント等への営業活動を行っていく。</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>体験プログラム数: 20プログラム</p> <p>体験プログラム受け入れ人数: 500人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>体験プログラム数: 16プログラム</p> <p>体験プログラム受け入れ人数: 400人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・べふ峡温泉でピザ焼き体験、御幣切り体験、いざなぎ流舞神楽の観賞・体験を行った。</li> <li>・香美市三大祭り(川上様夏祭り、土佐山田まつり、奥物部湖水祭)等会場で体験型観光のPRを行った。</li> <li>・龍河洞の洞内照明のLED化や地域交流施設ほっと平山の案内看板新設等、受け入れ人数を増やすための環境整備に取り組んでいる。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>体験メニューの充実</p> <p>⇒地域と香美市観光協会が連携し、新たな体験プログラムの造成や参加者の受け入れ体制の整備を図る。</p>
<p>■No. 23 広域観光の取組の推進(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会</li> </ul>	<p>[目標(H27)]</p> <p>観光客入り込み数: 80万人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>観光客入り込み数: 65万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知中央広域観光協議会設立総会を開催し、同協議会が発足した。併せて平成25年度事業計画及び予算を決定した(5/16)。</li> <li>・広域観光パンフレットを作成(2万部)した。</li> <li>・観光・物産展を開催した(12/7、12/8)。</li> <li>・とき旅セミナーに参加した(6/13、7/2、7/3、9/19、11/25、11/26)。</li> <li>・実務担当者会において、プロモーション(エージェントセ</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>ールス・モニターツアー)の実施計画作成等に取り組んでいる。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>広域観光の戦略検討</p> <p>⇒実務担当者等において、事業計画を具体化し、次年度計画を作成する中で、方向性及び戦略を検討していく。</p>

②上記以外で特記すべき取組

該当なし

2 平成 25 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No.5 直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大(南国市)</p>	<p>・国道 195 号通称「あけぼの街道」の全線開通を好機ととらえ、直販所・加工所を本線沿いに移転拡充して地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売を行い、地域農業者の所得向上を図るとともに、隣接する「ながおか温泉」への誘客を促進し、交流人口の拡大につなげる。</p>	<p>124,928(50,000)</p>
<p>■No.8「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組(南国市)</p>	<p>平成 21 年に「シャモ鍋」を開発し、南国市内の飲食店に「シャモ鍋社中」への参加を呼び掛ける等により、「地産『来』消」による交流人口の拡大を図ってきたところであるが、今後、ビジネスを更に発展させるため、県外の飲食店やスーパー、コンビニ等新規市場への本格的な参入、ギフト市場へ向けた加工品の開発等を進めていく。</p> <p>そのために必要となる生産体制の確保に向け、高知農業高校に貯卵・孵卵設備等を整備する。</p>	<p>5,574(2,787)</p>
<p>■No.10 加工品販売による夜須地域の活性化(香南市)</p>	<p>地場産品を生かした加工品開発・販売を行い、生産農家の所得向上につなげる。</p>	<p>9,841(4,630)</p>

### 3 県民参画に向けた取組

- ・香南市西川地区集落活動センター推進協議会役員会(5/2)及び全体会(5/8)で産業振興計画シンポジウムのPR
- ・香美・香南地区農業振興連絡協議会総会で第2期産業振興計画 ver2 及び産業振興計画シンポジウムについて説明及びPR(4/23)
- ・三水会※において、移住促進策(5/15)、高知家の取り組み(11/20)について説明
- ・香美(5/23)・香南(5/27)の各市商工会総会で、第2期産業振興計画 ver2 及び土佐MBAについて説明及びPR

※香美市の官公署、公共的団体、会社等の代表者等で構成される、親睦及び産業文化の向上発展への寄与を目的とする団体

### 4 相談案件：3件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/14	農業	南国市内の農業者の所得向上につなげるため、還元水を活用した野菜の実証栽培試験をしたい。
2	6/19	農業	トマトを生産している事業者が、南国市と香南市を中心に、トマトとワイン用のブドウを栽培してもらえる農業者を探している。
3	9/20	食品加工	県内で捕獲されたシカ肉を使用して、犬用ペットフードを製造・販売しているが、販路開拓に向けパッケージデザインを変更したい。